

# 平成26年度第3回定例会

9月定例会は、9月4日から24日までの21日間の会期で開かれた。一般質問には、8議員が登壇し、財政運営や教育・福祉対策などについて活発な議論が交わされた。

また、条例改正、補正予算、人事案件などを審議し、原案とおり可決した。さらに、平成25年度一般会計、特別会計、企業会計など全10会計の決算を慎重に審査し、原案のとおり認定した。

本会議（一般質問：9日）



## 主な質疑・討論

### 議案に対する質問・意見

#### ■質疑「議案56号」（福島議員）

Q 耕作放棄地が増えているが、農地中間管理事業と地域連携推進員の職務とは？

A 中間管理機構が農地の貸し手と借り手を募集して結びつけを行う仲介役となるもので、推進員は、農地の集積が円滑に進むよう、貸し手の掘り起こしや、圃場の現況確認、借り手側への情報提供などを行い、貸し手と借り手の仲介をする。

Q これから大規模の農業でないと続けられないような状況が心配されるかどうか？

A 中間的なまたは小さく定年後に農業をやってみたい方には新規の就農者として相談できる窓口がある。

#### ■質疑「議案62号」（山本議員）

Q 今回補正の「がんばる地域交付金」9843万円の内容と活用する事業は？

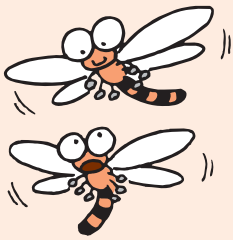
A 国の経済対策で地域活性化に向けた事業に対して交付されるもの。低公害車購入事業、旧河川排水施設整備事業、児童福祉施設撤去事業、健康センター改修事業、消防施設整備事業、農村環境改善センター改修事業、小川海洋センター改修事業の7つの事業に充当する予定。

#### （福島議員）

Q 空のえき事業関連に多くの経費が費やされているが、管理運営の必要性とその財源は？

A イベントに頼らないでそれぞれの施設の魅力づけをしながら頑張っていくのが大事と認識はしているが、安定した集客力が見込めるよう、また、県の観光拠点となるよう努力していくのに必要な経費と考えている。

財源については合併特例債で、イベントの開催費用は再編交付金のまちづくり基金を活用している。



## 討論（議案62号）

### ●反対討論（福島議員）

空の駅管理運営費として、今回新たにイベント開催業務委託料や工事請負費など4433万9000円が追加されている。そのために合併特例債を必要とする他の事業が削られることもあり、容認できるものではない。修正削除を求める。

### 一般会計補正予算の主なもの【歳出】

- 旧園部川排水施設改善強化工事 3,267万1千円↑
- 道路改良工事及び公共用バス整備事業費 2,967万9千円↑
- 保健センター3館の修繕、改修工事費 4,485万3千円↑
- 臨時駐車場の排水工事、施設整備工事や備品など空の駅管理運営費 4,433万9千円↑
- 羽鳥小学校仮設校舎賃貸借料など 6,563万8千円↑
- 農村環境改善センター屋上防水工事及び小川海洋センター整備工事 6,042万6千円↑
- 各幼稚園舎等改修工事及び美野里地区幼稚園耐震補強工事実施設計など 2,893万7千円↑

# 市財政の健全度チェック！ (速報値)

**実質公債費比率 7.8%**

項目	小美玉市		平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H25	7.8%	13位	9.0%	25% (18%)*
H24	8.1%	6位	9.8%	
H23	9.5%	10位	10.4%	

\* 順位・平均は、県内44市町村との比較および県内の平均。  
\* 早期健全化基準が18%に達した場合は、新たな借金をする際に県の許可を要するなどの制限がある。

**将来負担比率 62.6%**

項目	小美玉市		平均	早期健全化基準
	比率	順位		
H25	62.6%	29位	42.9%	350%
H24	104.4%	37位	55.0%	
H23	113.8%	36位	63.6%	

\* 順位・平均は、県内44市町村との比較および県内の平均。  
\* 早期健全化基準…地方公共団体の健全性に関する基準の一つで、基準値を超えた場合、財政健全化団体として自主的・計画的な財政の健全化が求められる。

# 平成25年度決算を認定！！

## 会計別の決算額

会計別		歳入(万円)	歳出(万円)	歳出の前年度比	
一般会計		257億5,092	249億4,709	15.1%↑	
特別会計	国民健康保険 (事業勘定)	64億3,194	62億6,639	2.7%↑	
	国民健康保険 (白河診療所)	1億6,274	1億5,455	1.7%↓	
	後期高齢者医療保険	4億1,843	4億848	7.7%↑	
	介護保険 (事業)	32億415	31億4,187	9.7%↑	
		(サービス)	721	551	681.8↑
	下水道	18億3,731	18億495	12.1%↑	
	農業集落排水	3億602	2億9,655	19.6%↓	
	戸別浄化槽	6,935	6,438	11.0%↓	
	霊園	1,600	1,288	—	
	合計	382億407	371億265	10.4%↑	
企業会計	病院	収益的収支	2億3,904	2億3,904	
		資本的収支	0	3,159	
	水道	収益的収支	7億4,515	6億7,272	
		資本的収支	1億3,104	2億9,006	

実質公債費比率？・・・市の実質的な借金が財政規模に占める割合のこと。数値が高いほど返済の負担が重いことを示す。  
将来負担比率？・・・将来支払う可能性のある負債の一般会計に対する比率。

## おみたま家の家計簿



平成25年度の小美玉市の一般会計決算(257億5,092万円)を「家計簿」に例えてみました。

( )内はH24年度との比較  
家計簿1万円=市決算5,000万円

収入 (万円)			支出 (万円)		
給与(基本給)	市税	128 (1)	生活費	人件費、物件費	128 (2)
給与(諸手当)	地方交付税等	127 (△1)	医療、福祉、教育	扶助費、補助費等(教育ソフト分)	75 (1)
パート収入	使用料、手数料等	9	家の増改築、防災対策	普通建設事業費	104 (28)
親、兄からの援助	国庫・県支出金	118 (23)	車や家具の修理代	維持補修費	15 (10)
ローン借入	市債	91 (36)	ローン返済	公債費	34 (2)
預金の引き出し	繰入金	5 (1)	預金	積立金	45 (12)
子どもの事業から返済	諸収入	9 (△1)	子どもの事業への貸付	補助費等(負担金、助成金)、繰出金(特別会計)、貸付金等	98 (10)
繰越金		28 (△5)			
合計		515 (54)	合計		499 (65)
預金残高		127 (26)	ローン残高	(住宅ローン221、カードローン200) ※資産形成する ※資産を形成しない	421 (61)
			連帯保証等	(公営事業特別会計や退職手当等)	142 (△94)

※平成25年度は合併特例債を活用した建設事業が進んだことにより収入・支出ともに増えた(防災行政無線、学校改築・耐震工事、空のえき「そ・ら・ら」、広域幹線道路、石岡地方斎場建設など)。ローン残高のうちカードローンが約半分を占めている。これは国の財源不足に伴い、地方交付税の立替分として発行する臨時財政対策債(返済額の100%が後年度に交付税措置される特例的市債)が主な要因。また、平成33年度からの一本算定に備え預金も増えている。